
U F Oをさがせ！？

若宮 優

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

UFOをさがせ!?

【Nコード】

N6719A

【作者名】

若宮 優

【あらすじ】

宇宙人を追い求める変わり者少年^{はまなきゆう}浜崎悠にどんどん巻き込まれてヘンテコな団の団員になってしまう佐藤有樹^{さとうゆう}そんな2人が主人公の青春(?)コメディです。

第一話 出会い

ある日、部屋のそうじをしていたら出てきた中学の卒業文集。

「あゝなつかしいなあ……ん？ああー……っ」

最初のページの集合写真で俺のとなりに写っているメガネのいかにもガリ勉ですって感じの男。

俺のクラスメイトはまざきゆう浜崎悠

「くそっ、あいつのことは思い出さないようにしてたのに……」

とにかく、あいつの変人ぶりときたら……もう思い出すのも嫌だ。

で、時は6年前の高校の入学式にさかのぼる。

最初はやっぱりおなじみの自己紹介。

「北中学校出身、佐藤恭祐さとうきゆうすけ好きな教科は体育です。よろしく」

やっぱりこういうのは緊張するもんだよねあ、と隣の男子（篠原だそっだ）と話していると……。

「南中学校出身、浜崎悠です。好きな教科は理科。そして僕の夢は宇宙人と遊ぶことです。以上」

は…？ クラスのほとんど、いや全員がこう思っているに違いない。

そんなこんなで俺は浜崎悠と出会ってしまった。

入学2日目で彼を知らない人はいなくなり、いろいろなウワサもでてきた。

俺が最初に話してた篠原はどうやら浜崎と同じ南中だったらしくいろいろな逸話を話してくれた。

「あいつな実はメガネ外すとかっこよくてさ。よく女子に告白されてたんだ」

「は？！あいつが？（俺は告白なんて一度もされてない…）」

「うん。でもさあ、その女子たち全員フラれたんだよね」

「なんでだよ？」

「それがね『君が宇宙人じゃない普通の人間だから』なんだってさ」

信じられない…。あいつは宇宙人以外には全く興味がないってことなのか。

第二話 愛好会結成？

俺と篠原が話していると突然教室の戸が開き入ってきたのはウワサの張本人浜崎悠だった。

浜崎はスタスタ俺の所へ歩いてきてこう言った。

「ちょっと君、佐藤君だね。君、部活は何部だい？」

「俺は部活はやってないけどそれがどうしたんだ？」

そう、俺は面倒な部活には入らない主義だった。

すると浜崎は少し考えた後こう言った。

「うん。ちょうどいい。よし、君に決めた！！」

ミステリー・オカルト研究会は本当にくだらない。ただのオタクの集まりだ。

やっと気がついたよ。やはり自分にあつた部が無いのなら自分で作らないといけないんだ！」

なにがなんだかサッパリだが質問をする暇もなく俺は浜崎に引きずられていった…。

そして着いたのは演劇部の部室だった。でも部員が1人だけしかないような…。

「ここなんかいい部室じゃないか。ああ、その君！」

「え？もしかしてアタシのこと？」

「ここはたった今から僕達を作る愛好会のものになった。いいだろっ？」

おいおい、そんなムチャクチャな…。

「別にいいよ。どうぞどうぞ。」

「なっ、ほ、本当にいいのかよ?!」

「うん。だってココの部員アタシ1人だけなんだもん」

「フッフッフ諦めるんだな佐藤君。君は最初っから僕の仲間になる運命だったんだよ」

くそう、こんなのが運命なら俺は神様を呪ってやるっつ！

「さてと、まずは愛好会の名前だがもう考えてあるんだ…

『宇宙人と 仲良くなるための 集団』略して『UN S 団』！
「！」

というわけでここに団員3名のUN S 団が結成された…。

第二話 愛好会結成？（後書き）

第一話で佐藤有樹が佐藤恭祐になってました。
どうもすみませんでした。

第三話 団員捜し

そんなこんなで俺はUNS団の団員に無理矢理されてしまった…。

そういえば前は名前が出てこなかったもう1人の団員となった演劇部の女子は

「山本小夏^{やまもとこなつ}でえす。趣味は料理を作って食べること。特技は食べること。ヨロシクね」

だそうだ。彼女は本当に体型からは想像できないほどの大食らいだった。

（山本のせいで何度俺の財布がピンチになったことが…）

さて話は変わるが、新しい部活を設立するにはいろいろと大変なのだった。

「何?!どうゆうことか説明したまえ佐藤君!!」

「だーから人数があと2人足りないんだよ」

新しい部を設立するには5人以上のメンバーが必要だったのだ。

「団員募集なんて貼り紙やビラを作っても人なんて来るわけないよねえ」

「ならば、僕達で団員を捜そうではないか！よし。そうと決めたらさっそく手分けして校内にいる

明らかに暇そうなヤツを見つけ、ここへつれて来るように。いいね？」

あゝ面倒だ。なんで俺がこんなことしなくちゃいけないんだよ…。

そして団員捜しから40分後……

俺が部室に戻るとそこには浜崎、山本そして、なにがなんだかという顔をした1人の（可愛い）女子がいた。

「やれやれ君も収穫なしか。まあいい小夏君がいい人材を連れてきてくれた」

お前も収穫なしかよ！とつつこんだ俺を軽くスルーした浜崎はその女子に歩み寄りこう言った。

「やあUNS団にようこそ。名前と学年を教えてくださいかな？」

「2年下田美紀です。で、ここは何をする所なんですか？」

「よくぞ聞いてくれた！ここは宇宙人を追い求め、宇宙人と仲良く交流をする団なのだよ」

「それって私が入っているミステリー研究会とあまりかわらないんじゃない？」

なんと下田さんはミステリー研究会に入っていたのか。人は見かけで判断しちゃいけないな。

「失礼だぞ佐藤君。世の中にはいろいろな人がいるのが普通だろう」

「勝手に人の心を読むな！つか、人の心読めんのかよ！？」

「ふっふっふ。甘くみるなよ佐藤君。僕はこれでも…」

「あゝ」

と割って入ってきたのは下田だった。

「とりあえず面倒なんで入りますよ。UNS団」

おいおいそんなノリで入って後悔しても知らんぞ。

というわけで現在団員4名。正式に活動できるまであと1人…。

第四話 挑戦状

今現在、俺は浜崎とミステリー研究会部長の和田友貴先輩わたともきに板挟みにされている。

2人は睨みあっていて、いまにも相手に殴りかかりそうな勢いだ。なぜ俺がこんな目にあっているかというそれは1、2時間前のこと…。

俺たちがいつものように元演劇部室に集まっていると、突然勢いよく戸が開けられ、浜崎と似たようなメガネの男が入ってきた。

「君たちがUNS団だね。団長の浜崎君は？」

「僕が浜崎ですが何の用ですか？」

「私は和田友貴という。単刀直入に言おう。我がミステリー研究会の部員、下田君を返してもらおう！」

なんと、この先輩は美紀さんを連れ戻しに来たらしいのだ。

「彼女はミステリー研究会の中で唯一の女子部員だ。彼女がいなくなるのはとても困る。」

それに、このUNS団はミステリー研究会と同一のものと私は判断した。団員たちは全員、我が研究会に入ってもらおう」

「な、なんだと！？勝手に決めるな！」

と、まあこんな流れで2人は睨みあっているわけだ。

たしかにUNSS団を作ってから一週間もたたずに廃部はないだろう。

「UNSS団を存続するとしてもだ。人数も足りない、活動は全くやっていないじゃ話にならないのだよ」

「よし。そこまで言うのなら何か活動をしてやろうじゃないか！」

「それなら活動内容のレポートでもなんでもいい。何か作品を私に提出してくれ」

「いいだろう望むところだ!!」

「おいおい、ちょっと待て勝手に話を進めるなよ。大体この人数じゃあ活動は出来ないんだぞ」

「いやなにバレなければいいんだバレなければ。この手があったな」

こいつ今まで思いつかなかっただけで、その手があれば勝手に活動してたのかよ?!

「期限は大目にみて一ヶ月だ。まあそれまでせいぜい頑張リたまえ」

そして不敵に笑いながら和田先輩は出ていった…。

「さて、ぐずぐずしてはいられないな。すぐに始めよう」

「って何をやるんだよ？」

「ふっふっふ。ここには丁度よく演劇部の小夏君がいるじゃないか。僕達で映画を作る！」

というわけで新入部員下田美紀さんを賭けて俺達の映画作りが始まったのだった…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6719a/>

UFOをさがせ！？

2011年10月3日11時02分発行